

広報
TAGAWA

たがわ

農業に挑む。
未来を切り開く。

みずみずしい味わいと赤や黄色の鮮やかさが特徴の「パプリカ」。本市は、地域資源のひとつであるパプリカの生産技術や流通販売、農業経営など幅広い知識を持った農業者の育成に取り組んでいます。昨年度に白鳥工業団地内に実践型栽培施設（ビニルハウスなど）を建設。栽培に挑戦する農業者を募集し、すがわらかずひこ菅原一彦さん（写真右）と「てんせいやすみち田川創生有志の会（照瀬保道代表・写真左）」にパプリカの未来を託しました。栽培方法や農業経営などの事前研修（昨年12月～本年3月）を経て、4月に2,500本の苗（夏作）を定植。実践研修としての栽培がスタートしました。



5 / 1

平成30年5月1日
(2018年)

NO. 1478